大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F114310104703	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）
大学名	情報セキュリティ大学院大学	設置区分	私立	事業計画名	情報セキュリティ大学院大学「プラス・セキュリティ」高度情報人材の育成
学校種	大学	都道府県	神奈川		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和7年度	【令和7年4月1日時点の入学定員】 情報セキュリティ研究科情報セキュリティ専攻博士前期課程　入学定員40名 令和7年10月　教授会にて、以下の学則変更の承認 ・令和9年度より専攻名を「情報セキュリティ総合科学専攻」に変更する件 ・令和9年度より前期課程の入学定員を55名に変更する件	令和7年度は専攻、入学定員に変更はなし。 令和8年2月の教授会にて、以下の学則変更の承認した。 ・令和9年度より専攻名を「情報セキュリティ総合科学専攻」に変更する件 ・令和9年度より前期課程の入学定員を55名に変更する件	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①令和7年09月　産業専門性の高い教員採用 ②令和7年10月　国際資格組織との協業 ③令和7年10月　教育課程編成の精査・改善 ④令和8年01月　リカレント教育用講座スペース（複数年契約1年目） ⑤令和8年01月　セキュリティ演習クラウド環境（複数年契約1年目） ⑥令和8年01月　ハイブリッド講座環境（複数年契約1年目）	①令和7年09月～令和8年03月　産業専門性の高い教員採用では、専任教員・非常勤教員の採用活動を進めた。 ②令和7年10月～令和8年03月　国際資格組織との協業では、サイバーセキュリティ分野で最も有力なISC2の会合に参加して情報収集を進めた。 ③令和7年10月～令和8年02月　教育課程編成の精査・改善では、2回の集中会議（夏会議・冬会議）を行い、これまで特設講義として実施し、実務科目として実績が高い3科目を正規科目に変更する学則変更（R9年度より）を決定した。また、R8年度から新たな特設講義1科目（AIセキュリティ）の開講を決めた。 ④令和8年01月～令和8年03月　リカレント教育用講座スペースとして、東京駅近くのシェアオフィスのスペースを確保し、試行利用を開始した。 ⑤令和8年01月～令和8年03月　セキュリティ演習クラウド環境として、セキュリティ演習クラウド環境設備にセキュリティと認証設定の機能を追加した。具体的には、演習用仮想マシンの管理・操作ツール（第1版）を開発し、模擬講義を実施してR8年度の準備を行った。 ⑥令和8年01月～令和8年03月　ハイブリッド教材として、オンデマンド講義教材を開発した。ハイブリッド講座環境については(として)、ハイレベルな機能追加としてAIカメラ機能付きのマイク・スピーカー設備を購入し、設置した。		
令和8年度	令和8年4月　令和9年度から情報セキュリティ研究科情報セキュリティ専攻の名称変更および博士前期課程収容定員変更に係る学則変更届		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①令和8年04月　セキュリティ演習クラウド環境（複数年契約2年目） ②令和8年04月　ハイブリッド講座環境（複数年契約2年目） ③令和8年04月　リカレント教育用講座スペース（複数年契約2年目） ④令和8年04月　産業専門性の高い教員採用 ⑤令和8年04月　国際資格組織との協業 ⑥令和8年04月　教育課程編成の精査・改善 ⑦令和8年04月　ファカルティ・ディベロップメントの強化			
令和9年度	令和9年4月　情報セキュリティ研究科情報セキュリティ総合科学専攻博士前期課程　15名増員（入学定員55名）		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①令和9年04月　セキュリティ演習クラウド環境（複数年契約3年目） ②令和9年04月　ハイブリッド講座環境（複数年契約3年目） ③令和9年04月　リカレント教育用講座スペース（複数年契約3年目） ④令和9年04月　産業専門性の高い教員採用 ⑤令和9年04月　国際資格組織との協業 ⑥令和9年04月　教育課程編成の精査・改善 ⑦令和9年04月　ファカルティ・ディベロップメントの強化			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①令和10年04月　セキュリティ演習クラウド環境（複数年契約4年目） ②令和10年04月　ハイブリッド講座環境（複数年契約4年目） ③令和10年04月　リカレント教育用講座スペース（複数年契約4年目） ④令和10年04月　産業専門性の高い教員採用 ⑤令和10年04月　国際資格組織との協業 ⑥令和10年04月　教育課程編成の精査・改善 ⑦令和10年04月　ファカルティ・ディベロップメントの強化 ⑧令和10年10月　自己点検・評価と外部評価			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①令和11年04月　セキュリティ演習クラウド環境（複数年契約5年目） ②令和11年04月　ハイブリッド講座環境（複数年契約5年目） ③令和11年04月　リカレント教育用講座スペース（複数年契約5年目） ④令和11年04月　産業専門性の高い教員採用 ⑤令和11年04月　国際資格組織との協業 ⑥令和11年04月　教育課程編成の精査・改善 ⑦令和11年04月　ファカルティ・ディベロップメントの強化			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	①令和12年04月　セキュリティ演習クラウド環境（複数年契約6年目） ②令和12年04月　ハイブリッド講座環境（複数年契約6年目） ③令和12年04月　リカレント教育用講座スペース（複数年契約6年目） ④令和12年04月　産業専門性の高い教員採用 ⑤令和12年04月　国際資格組織との協業 ⑥令和12年04月　教育課程編成の精査・改善 ⑦令和12年04月　ファカルティ・ディベロップメントの強化			
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	①令和13年04月　セキュリティ演習クラウド環境（複数年契約7年目） ②令和13年04月　ハイブリッド講座環境（複数年契約7年目） ③令和13年04月　リカレント教育用講座スペース（複数年契約7年目） ④令和13年04月　産業専門性の高い教員採用 ⑤令和13年04月　国際資格組織との協業 ⑥令和13年04月　教育課程編成の精査・改善 ⑦令和13年04月　ファカルティ・ディベロップメントの強化 ⑧令和13年10月　自己点検・評価と外部評価			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価	リストから選択してください。
令和16年度			令和16年度自己評価	リストから選択してください。

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	情報セキュリティ大学院大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学では、神奈川県下の多くの法人を会員企業とするNPO情報セキュリティフォーラムおよび神奈川県警とともに主催するサイバー犯罪対策協議会の活動として、サイバー空間の脅威に対する対処能力を競うCTF競技会を約10年前から毎年開催しており、東日本の各県警を中心に年々多くの参加者を得ている。本競技会は、競技参加者に加え、地元企業や本学在学生が運営に関わる産学連携による実践的なセキュリティ人材育成の取り組みである。今後も継続し、神奈川県警とともに全国規模に拡大していく。 また、2007年に採択され、現在も自主継続している「研究と実務融合による高度情報セキュリティ人材育成プログラム」(ISSスクエア)においては、連携する大手IT企業や研究所等の情報セキュリティのトップレベルの研究者に連携教授として就任いただいている。連携教授にはセキュリティ実務面から博士前期課程学生の研究指導支援を通して、受講学生の実践力とモチベーションの向上に多大な貢献をいただいており、この取り組みを継続、拡大していく予定である。 また、金融機関や先端セキュリティ企業等との共同研究に基づいて、「プラス・セキュリティ」人材育成のための教育プログラムを開発し、リカレントプログラムとして開講している。その講義・演習内容を充実させ、今後は正規課程のカリキュラムに反映する。	申請時の計画に沿って、R7年度は次の取組を進めた。 ◇ R7年11月28日に、「第8回CTF神奈川」を本学にて実施した。協議会には警察、行政機関、サイバー防犯ボランティア等から多くのチームが参加し、サイバーセキュリティ実践力を競った。ISSスクエアの分科会が問題作成に協力し、地元神奈川県の企業から協力を得た産官学の取組とすることができた。 ◇ISSスクエアでは、5月20日（第78回）、7月11日（第79回）、10月22日（第80回）、2026年1月23日（第81回）と広く企業・官庁・学術機関に公開の水平ワークショップを開催した。AIリスクへの企業の取組課題や、ポスト量子時代に向けた課題など、最新のテーマについて、産官学の第一人者による講演とパネル討論を実施し、好評を得た。また、2月27日には、ISSスクエアの連携教授を招いて、受講学生の研究発表会（ISSスクエアシンポジウム）を開催した。 ◇複数企業や官公庁との共同研究を進め、政策や産業社会での課題に取り組むとともに、それを関連講義や演習に反映する取組を進めた。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学の設置法人である学校法人岩崎学園は、「次代を担う若者の成長と地域の一層の活性化を図ること」を目的に2016年に神奈川県との間で包括協定を締結して以来、様々な連携事業を進めており、同協定の一環として本学も県高等学校研修会への講師派遣や県内高校での情報セキュリティ講座等の取り組みを行ってきた。これらの取り組みを継続するとともに、神奈川県内高校の教員として情報教育に携わる本学修了生とも連携し、中等教育段階におけるセキュリティ教育・啓発に努めるとともに、情報分野の職業教育の一助となる活動を進める。	申請時の計画に沿って、R7年度は次の取組を進めた。 ◇ 神奈川県との包括協定に基づき、学校法人全体で取り組み案を議論した。 ◇ 本学教員が理事長を務めるNPO情報セキュリティフォーラム（ISEF）では、小・中・高・専門学校などからの講座依頼に対応した。小中学生、高校生を対象としたものに加え、保護者や教員向けにもインターネットの安全な使い方などの講座では多数の受講者があった。ISEFの活動では、本学の教職員に加え、社会で活躍する本学OB/OGが講師・指導者として多数貢献している。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
有職の社会人学生の就学に配慮し、平日夜間および土曜日にも授業を開講すること加え、特定曜日のオンライン授業の恒常化に取り組み、社会人の時間的・地理的制約の克服により資することとする。さらに、対面授業として実施している必修科目についても、居住地や業務都合、家族の養育や介護等特別の事情を有する社会人については、申請によりオンラインで受講できる制度を設ける。また、授業科目ごとの性質を踏まえ、反転学習が有効と判断される科目については、1年に数科目ずつのペースでオンデマンド授業のコンテンツ開発を進め、補助員を適切に配置して、有職の社会人学生の科目選択の幅を拡げる取り組みを進める。このほか、厚生労働省の教育訓練給付金制度、社会人学生も利用可能な貸与型独自奨学金制度、TARA制度、希望者への在学期間中のノートPC無償貸与制度等により経済的な負担の軽減を図る。加えて、都内在勤の社会人学生が自習や研究指導を受けるスペースとして利用可能なサテライトオフィスを主要ターミナル近くに開設して就学支援を行うとともに、主研究指導教員に加え、学生ごとにメンター教員を割り当て、客観的な立場から教育研究活動が円滑に進むよう指導・助言を行い、組織全体として学業不振や研究に行き詰った学生を早期にサポートする体制を整える。さらに、グローバルな観点から女子学生のキャリア開発に資する情報を得るため、セキュリティ分野の人材育成において、diversity, equity and inclusion（DEI）を進める国際団体との連携を進めるとともに、多様な業種・職域からの社会人学生を受け入れ、ハイレベルのプラス・セキュリティ人材を育成することを念頭に、適切な導入教育プログラム、プレレキジット科目の開発を行う。	申請時の計画に沿って、R7年度は次の取組を進めた。 ◇ R7年度は、前期4科目・後期4科目のオンライン授業を実施した。うち技術系の2科目では、対面でのハンズオン演習を組合せるハイブリッド型を試行した。 ◇ 技術系と社会科学系それぞれ1科目のオンデマンド講義教材を開発するとともに、教員・学生双方に向けたオンデマンド講義ガイドライン初版を作成し、R8年度での講義開講に備えた。 ◇ R7年度に、文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」の申請を行い、R8年4月からの認定を受けることができた。このほか、厚生労働省の教育訓練給付金制度、社会人学生も利用可能な貸与型独自奨学金制度、TARA制度、希望者への在学期間中のノートPC無償貸与制度等を実施した。 ◇ 都内在勤の社会人学生が自習や研究指導を受けるスペースとして利用可能なサテライトオフィスを東京駅（京橋駅）近くに確保し、研究指導で試行しながら、サテライトオフィス環境整備を進めた。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
文部科学省採択事業として2007年に開始した産学・大学間連携プロジェクトである「研究と実務融合による高度情報セキュリティ人材育成プログラム」（ISSスクエア）、2012年からの「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク（セキュリティ分野）」（enPiT-Security（SecCap））の取り組みを今後も発展・継続する。具体的には、ISSスクエアは他2大学の研究科と、enPiT-Security(SecCap)は他4大学の研究科との学生交流協定に基づき、各大学が当該プログラムのために開講している高度専門科目や実践的な演習科目を相互に履修できる体制を維持・発展させる。 また、2015年以降、順次全国の高等専門学校との包括連携協定締結を進め、大学院インターンシップ、推薦入学制度により、定期的に高専専攻科の卒業生を入学者として獲得しており、この取り組みを発展させ、高専教職員への研修への協力や、社会人学生として高専教職員の正規課程へ受け入れるための仕組みを整えることとする。	申請時の計画に沿って、R7年度は次の取組を進めた。 ◇ ISSスクエアのプログラムを連携大学と共同で実施した。学生は、相互交流協定に基づいて高度専門科目を受講するとともに、5つの分科会活動を通して、共同研究を進め、その成果をR8年2月27日のISSスクエアシンポジウムで発表することができた。 ◇ enPiT-Security（SecCap)においても、相互交流協定に基づいて実践的な演習科目などを相互に受講し、技術スキルや知見を高められた。 ◇ R7年度は、新たに専門職大学1校と高等専門学校1校との推薦入試に関する協定を締結するとともに、定常的な相互交流を進めることとした。	

大学名	情報セキュリティ大学院大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

本事業対象となる研究科等の個数	1

1.本事業対象となる情報系組織の状況

1－2.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	情報セキュリティ研究科情報セキュリティ専攻

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定	届出																	
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	40	40																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	40	40																	
		入学者数	人	17	29																	
		女子学生数	人	5	5																	
		社会人学生数	人	10	21																	
		留学生数	人	1	1																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	4																		
		女子学生数	人	2																		
		社会人学生数	人	4																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	40	40	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	21	29	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	7	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	14	21	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.53	0.73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	80	80																	
		在籍者数(D)	人	63	65																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.79	0.81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	26		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	24																		
		進学者数	人	0																		
		その他	人	1																		
		進路不明	人	1																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	24	24																	
		授業科目の単位数	単位	64	74																	

大学名	情報セキュリティ大学院大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

2.情報系組織の状況

2－1.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度 選定	R8年度 届出	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	8	8																	
		入学者数	人	4	3																	
		女子学生数	人	0	0																	
		社会人学生数	人	3	2																	
		留学生数	人	1	0																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0																		
		女子学生数	人	0																		
		社会人学生数	人	0																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	8	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	4	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	3	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.50	0.38	-	-			-	-				-	-		-	-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	24	24																	
		在籍者数(D)	人	19	13																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.79	0.54	-	-			-	-	-			-	-		-	-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	6																		
		就職者数	人	6																		
		進学者数	人	0																		
		その他	人	0																		
		進路不明	人	0																		
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0																		
		学位取得者数	人	6																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	7	8																	
		授業科目の単位数	単位	9	9																	

大学名	情報セキュリティ大学院大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

年度				R7年度 選定	R8年度 届出	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	40	40																	
		入学者数	人	17	29																	
		女子学生数	人	5	5																	
		社会人学生数	人	10	21																	
		留学生数	人	1	1																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	4																		
		女子学生数	人	2																		
		社会人学生数	人	4																		
		留学生数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	40	40	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	21	29	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	7	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	14	21	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.53	0.73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	80	80																	
		在籍者数(D)	人	63	65																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.79	0.81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	26																		
		就職者数	人	24																		
		進学者数	人	0																		
		その他	人	1																		
		進路不明	人	1																		
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	24	24																	
		授業科目の単位数	単位	64	74																	

大学名	情報セキュリティ大学院大学	改組内容	研究科等の設置・増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	8	8																	
		入学者数	人	4	3																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	8	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	4	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.50	0.38	-	-			-	-	-			-	-	-			-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	24	24																	
		在籍者数（D）	人	19	13																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.79	0.54	-	-			-	-	-			-	-	-			-		

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	40	40																	
		入学者数	人	17	29																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	4																		
	入学者合計	入学定員（A）	人	40	40	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	21	29	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.53	0.73	-	-			-	-	-			-	-	-			-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	80	80																	
		在籍者数（D）	人	63	65																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.79	0.81	-	-			-	-	-			-	-	-			-		

大学名	情報セキュリティ大学院大学	改組内容	研究科等の設置･増員（一般枠）

４.外部資金の状況（全学）

年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円																			

特記事項

情報セキュリティ大学院大学における情報セキュリティ研究科博士後期課程並びに博士前期課程（修士課程）のR7年度およびR8年度のその他の学期の入学定員0人とは、若干名を意味している。